

令和7年11月17日(金)



3年生の社会科は公民分野でした。選挙制度について学んでいるところです。この授業では、2時間かけて模擬選挙を行います。今日は、その第1時。国政選挙の投票状況を見ると、若い世代の投票率が低く、年代が上がるにつれて投票率が高くなる傾向にあります。この統計を踏まえ、「私たちはどのように政治参加すべきだろうか」という学習課題を設定しました。まず、若い世代の投票率の低さの原因について生徒たちが考えました。「めんどくさい」、「興味ない」、「政治家は口だけ」、「投票は義務じゃない」、「選挙はよくわからない」、「投票より自分がやりたいことがある」、「自分の一票じゃ何も変わらない」など、おおむね的を射ている考えを発表します。中には、「若者向けの政策をしていない」というものもありました。そこで、本時は、模擬選挙に向けて、班ごとに政党をつくり、党首を決め、立候補のための公約をつくりました。先生から示された公約づくりの視点は4つ。①子育てに関する政策、②高齢化社会に関する政策、③エネルギーに関する政策、④党独自の政策、です。班であれこれ意見を交わしながら、公約をつくっていきました。次回の授業は、いよいよ模擬選挙です。誰が当選するでしょうか。



1年生の体育は、ソフトボールの授業でした。私が子供のころは、遊びと言えば野球でしたが、Jリーグが立ち上がったところからサッカーに人気移っていきました。最近では、サッカーの人気は依然として高いものの、大谷翔平選手のメジャーリーグでの大活躍などもあり、再び野球の人気が高まってきたように思います。とはいえ、子供の遊びとして野球が代表的かといえば、そうとは言えません。よって、学校でベースボール型の授業を行うにあたっては、生徒の技能面を考慮して、ローカルルールなどを設定することが一般的です。本時は、学習のねらいを「アウトをできるだけ多くとろう」に設定しました。制限時間内に、多くアウトを取ったチームが勝つというルールです。アウトを取るには、①三振をとる、②打球をノーバウンドでキャッチする、③ゴロなどを捕球してベースに投げる、が一般的ですが、③が技能的に最も難しいと言えます。特に、1塁でアウトにするには、送球する距離も長くなるケースが多く、投げるのも捕るのも簡単ではありません。今回は、ソフトボールなので、走者はリードしません。したがって、2塁でフォースアウトにした方が、生徒もやりやすそうでした。アウトをできるだけ多くとるためには、どの塁に走者がいるか、どこでアウトが取れるかを考え、判断する面白さがありました。



11月18日及び19日は、校長が出張で不在のため、「WEST LIFE 校長の目」は、お休みします。